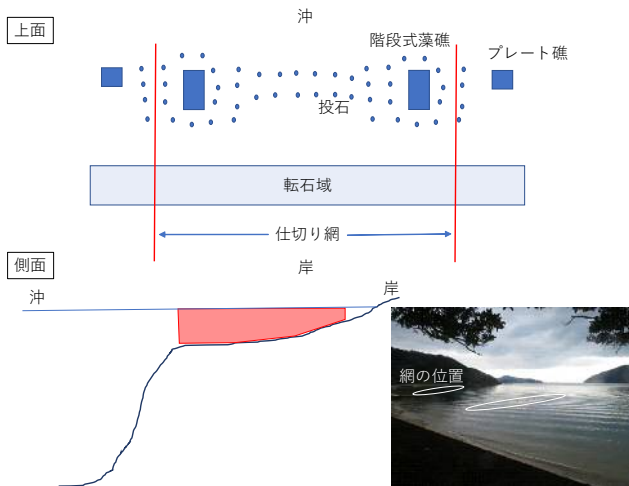


仕切り網（瀬切り方式）で藻場回復-奄美編

令和2年2月28日 水産技術開発センター

奄美大島の瀬戸内町には、平成22年前後に当所が内湾性ホンダワラ藻場を回復させたものの、今は魚の食害を受け伸長できない場所があります。そこは30mほど浅場が続いた後、急深になる地形となっています。

植食性魚類は浅場を移動することが多いと言われていることをヒントに、仕切り網による魚の食害防除試験を実施しています。昨年度は、岸から沖合に藻場の中央を1枚の網で仕切り、ある程度効果が見られたことから、今年度は2枚で藻場を防御して、現在順調に藻場が形成されようとしています。下の写真はほぼ同じ場所を撮影したものです。これからの1ヶ月が勝負所です。



試験概略図と現地の写真



網設置時（1月9日、平均25mm）



2月3日（平均93mm, 48~165mm）



2月20日（平均224mm, 57~513mm）